

21 一寸先は闇

将来のことは、ちょっとさきのことでも全くわからないということ。

22 一寸の虫にも五分の魂

小さくて弱い者にも相応の意地があるのだから、どんな相手であってもあなどってはいけない、ということ。

23 言わぬが花

口に出して言わない方が、味があるということ。また口に出すと差し障るので言わないほうがいい。

24 魚心あれば水心

相手が好意を示すのならば、自分もそれに応じて、好意をもって対応しよう、ということ。

25 牛にひかれて善光寺参り

思わぬ偶然や他人の誘いで、良い結果を得たり、良いほうへと導かれること。

26 氏より育ち

家柄の良さなどよりも育った環境のほうが、その人の人間性に大きく影響し、大切だということ。

27 嘘から出た誠

嘘で言っただけのことが、たまたま実現してしまうこと。

28 嘘つきは泥棒の始まり

平気でうそをつくようになると、やがては盗みも平気でするようになる。だから嘘はついてはいけないということ。

29 嘘も方便

物事を順調に進めるためには、時と場合によっては嘘をつくことも必要だということ。

30 鵜の真似をする鳥

カラスが鵜を真似て魚を捕ろうとしても、うまくいかない。身の程をわきまえず、人の真似をして失敗すること。

31 馬の耳に念仏

人の意見や忠告を聞き流してしまい、何とも思わないことのとえ。

32 瓜の蔓に茄子はならぬ

平凡な親からは平凡な子供しか生まれないことのとえ。

33 噂をすれば影

誰かの噂をしていると、その本人が現れることがあるということ。

34 江戸の敵を長崎で討つ

意外なところで、昔の恨みを晴らすことのとえ。

35 海老で鯛を釣る

少しの元手や努力で、大きな利益を得ることのとえ。

36 縁の下の力持ち

人に知られないところで他人のために努力や苦勞をすること。また、そのような人。

37 驕る平家は久しからず

思い上がってわがままに振る舞うものは、いつまでも栄えていることはできずに、勢力も衰えて滅びるということ。

38 小田原評定

意見が分かれていて、なかなかまとまらない相談や会議。

39 鬼に金棒

もともと強い存在が、何かを得ることでさらに強力になることのとえ。

40 鬼の居ぬ間に洗濯

怖い人やうるさく注意してくる人がいない間に、のんびりくつろぐこと。